

県立高再編で意見書可決

奈良市会

奈良市議会の6月定例会は25日、本会議を再開し、平成30年度一般会計補正予算案など議案と諮問1件を含む15案件を可決、同意した。また共産党市議団などが働き掛けを強めていた「県立高等学校適正化実施計画(案)」の議決の延期と説明を求める意見書」を全会一致で可決した。

他に例のない事案 説明求め全会一致

意見書は議会運営委員
員会から提案され、森
田一成同委員長(自民
党)が提案理由を説明、
共産の北村拓哉市議団
長と日本維新の会の三

橋和史氏が賛成討論し
た。

北村氏は平城高校を
実質閉校する今回の再
編計画に「当事者らの
声を一切聞かず提案さ

れ、同高校舎跡が奈良
高校に明け渡されるな
ど他に例を見ない事案
であり、憤りすら覚え
る」と反発。三橋氏は

「奈良、平城両校を移
転や閉校の対象とする
必要性は全く見当たら
ない」と述べ「広く県
民の理解を得られるよ
う計画案の見直しを
要求する」と主張し
た。

議会后、仲川元庸市
長は、なら国際映画祭
への補助金1000万
円を含む一般会計補正
予算案が可決されたこ
とについて「議会の意
見を受け、この間、対

同映画祭の補助金に関
して(限度額の)10
00万円が固定される
のではと危ぐする見方
が出ていたが、市長は
「映画祭が今後どれく
らいの事業規模、財源
構成でされるか分から
ない。次回応募があれ
ばそのときに判断す
る」とした。

また同市長は、市内
の中学生にも影響が大
きい県立高校の再編問
題に関して「行政とし
ては少子化の進展に伴
い再編化は必要と感じ
る。県の判断は妥当と
思うが、手法論として
は(関係者から)意見
が出ていることはなる
ほどと思う部分もあ
る」と慎重な言い方で、
「市も(小中の)再編
問題を抱えている」と
明確な返答は避けた。

応させていただき、理
解いただいた。感謝し
たい」と述べた。
市議会からは、今後

また同市長は、市内
の中学生にも影響が大

また同市長は、市内
の中学生にも影響が大

また同市長は、市内
の中学生にも影響が大